

2021（令和3）年度

生活介護事業所  
みゆき広場  
事業報告

自 令和3年 4月1日  
至 令和4年 3月31日

社会福祉法人 歓びの園

## はじめに

理事長 生藤章洋

令和3年度も新型コロナウイルスの感染が終息せず、一連の事業計画に基づいた行事や活動を、変更及び自粛せざるを得ない状態が続きました。みゆき広場では2022年1月19日に利用者様1名が、1月21日に新たな利用者様1名が新型コロナウイルスに感染し、1月20日から1月30日まで休業をいたしました。さらに、3月24日に職員1名が、3月26日に利用者様1名が、3月29日に新たな利用者様1名が新型コロナウイルスに感染し3月29日から4月4日まで休業をいたしました。それぞれ開所前日には職員でリスクマネジメント会議を開き、更なる感染予防策を再検討しております。開所時には、ご家族や利用者様から休業期間中サービスが使えなかったため、ご家庭等でしんどい思いをされていたことを聞くと、みゆき広場の役割の重要性を再認識いたしました。

現在、全国的には緩やかに新規感染者は減少していますが、ここに来て福山市では1日の新規感染者数が100人を増えており、未だ終息には至っておりません。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願っております。

<2021 年度みゆき広場利用状況>

◇出欠状況(延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	通所日(日)	23	20	24	22	21	22	23	22	21	12	20	22	252
	利用延人数(人)	668	554	682	632	554	619	659	631	602	342	562	601	7106
	平均利用率(人)	29.0	27.7	28.4	28.7	26.4	28.1	28.7	28.7	28.7	28.5	28.1	27.3	28.2

\*2021年度:通所日 252日, 利用延べ人数 7,106人, 平均利用率 28.2人

◇年代別

(人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
女性	0	3	1	3	2	1	10
男性	0	5	1	13	2	0	21
合計	0	8	2	16	4	1	31

◇障害支援区分

(人)

区分	2	3	4	5	6	合計
女性	0	0	0	3	7	10
男性	0	0	1	3	17	21
合計	0	0	1	6	24	31

2022年3月31日現在(実利用者)

## 【週間カリキュラム別状況】

### 《手作り》

- ・今年度の目標 それぞれが新しい技術の取得を目指し、製品の質の向上を目指す。順調に販売を続けている布巾は、引き続き丁寧な仕上げを目指し、使い心地の良い製品の作製を目指していく。ランチョンマットやコースター、フクロウの置物、猫のクッション等は材料の確保ができ次第、製作を行っていく。新たに販売を開始したマスクも需要の増加により販売を続けていく。新たな製品の開発にも力を入れていく。福山市博物館内のショップや彩プラザで販売する製品の種類、納品量を増やしていきたい。また、新たな販売ルートも探して行く。感染症対策により納品・集金に行く利用者様は1～2名とし、マスクが着用できる利用者様に限って行く。今後も感染状況を見ながら納品を行っていく。
- ・実施場所 新館、食堂
- ・実施日と時間 月・火曜日／10:00～11:30・月・火・水曜日／13:00～14:30
- ・目的 制作する喜びを味わい、製品を販売して社会参加をする。
- ・内容 布製品の小物入れや髪飾りづくり、ビーズでブレスレットなどのアクセサリ製品等の製作、事業所内使用及び販売用の布巾の製作、動物を形取ったランチョンマットやコースターの製作、フクロウの置物、猫のクッション、マスクの製作を行う。
- ・全体の評価 今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止によりイベント中止が続いた。また、福山市博物館内のショップと福山すこやかセンター内にある販売ショップ『彩プラザ』で販売を続けてきたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で販売場所が休業することが続き販売の機会が減った為、製品については積極的に製作が出来なかった。しかし、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除になり営業が再開すると、商品を季節に合わせた物に入れ替えるなどを積極的に行うことで、製品が売り切れたと連絡が入るほど好評の声を頂くことがあった為、2店舗での売り上げは前年度と同等であった。今年度からみゆき広場周辺に住まれている地域の方に向けた『朝市』を2回開催しており、そこで手作りの製品を販売することが出来た。『朝市』では、製品を製作するだけでなく接客も行えており、利用者様にとっては貴重な機会となっていた。製品については、福山市博物館内のショップに参入する事業所が増えみゆき広場が使用できるスペースが減った事から、ランチョンマットやコースター、フクロウの置物、猫のクッションなどの大きい物の製作は取りやめ、小物類（巾着やポーチなど）の製作・販売に切り替えていった。利用者様の作業技術は利用者様それぞれの技術に合った治具を作成・活用することで、順調に向上することが出来ている。また、個別スペースの活用や作業配置の工夫・適度な休憩を入れることで集中力を継続させ作業量や丁寧さも上がっている。

### 【作製品目】

- 布製品 : 布マスク・眼鏡ケース・小物入れ・ポーチ・バック・きんちやく袋・ペンケース・ランチョンマット・コースター・販売用雑巾・みゆき広場内雑巾。
- 革製品 : 今年度製作を行っていない。
- ビーズ製品: ブレスレット (新型コロナウイルス感染拡大防止により販売できる場がないが技術維持を目的に製作を続けている現状)

作品 : 各利用者様の技術に合わせた個人作品作り。(刺繍等)

博物館・彩プラザ年間売上表

(単位:円)

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
博物館	2,880	160	0	0	2,144	1,568	1,872	2,608	640	1,104	3,040	1,472	17,488
彩プラザ	0	0	0	0	0	2,928	1,520	1,584	1,792	1,360	944	1,856	11,984
月合計	2,880	160	0	0	2,144	4,496	3,392	4,192	2,432	2,464	3,984	3,328	29,472

(単位:円)

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
博物館	2,128	2,512	1,680	3,152	924	0	1,104	0	0	1,728	360	448	14,036
彩プラザ	0	3,104	2,032	4,136	480	0	784	304	560	3,368	1,712	160	16,640
月合計	2,128	5,616	3,712	7,288	924	480	1,888	304	560	5,096	2,072	608	30,676

### 《和紙作り》

- ・今年度の目標 それぞれが作業分担を行い1つの製品が完成するまでに多くの利用者様が作業に関われるようにしていく。製品加工数を少しずつのぼし季節に応じた商品などを生産していく。製品の丁寧な作成に心がけ完成度の高いものが販売できるようにしていく。コロナ禍で地域イベント等が中止となっている中、ご家族への販売や外部団体への委託販売のニーズに応えられる様に製品開発を行っていく。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 月・金曜日/10:00~11:30
- ・目的 牛乳パックを使った和紙製品作りを通して機能訓練、社会参加をはかる。
- ・内容 牛乳パックを利用して和紙作りと製品作りを行っていく。牛乳パックから製品を作る過程の中で1つでも多くの工程に参加してもらい製品が完成したことの達成感をもってもらう。紙の細かい繊維等にふれることで本人の持つ感覚を刺激する。
- ・全体の評価 和紙作りの作業では利用者様にあった工程に分かれて、牛乳パックのラベル剥がし、紙ちぎりの行程、牛乳パック切り、和紙すきなど様々な行程があるが、新型コロナウイルス感染症の対策では室内の換気、手洗い、アルコールでの消毒や、人同士が密にならない様に今まで以上に広く場所をとった配置で行っている。また、他の対策の準備の点から、作業時間の縮小により製品の生産量も少しではあるが減ってきている。販売の方は今まで販売していた各種イベント(ふれあい広場、みゆきフェスタ、彩フェスタ、施設の夏祭り)等が中止になり販売機会も少なくなっている。現在は広島県立歴史博物館と福山すこやかセンターにて製品を置かせてもらって販売場所を確保しているのと、新たな取り組みとして、みゆき広場で朝市を企画し販売機会を設けているが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で中止になり2回のみ開催であった。少しずつではあるが販売機会を模索し売り上げにつながってきている。

### 《音楽》

- ・今年度の目標 全員が一体となって活動を行える環境を作り、音楽を通して表現力を身につける。音を聴き、「他の人と音を合わせる」ことを意識する。自分なりの表現を見出し、楽しみ方を見つける。火曜日の音楽では、ベースとなる音楽療法を続けながら、新たな曲や「今

月の歌」など取り入れ、飽きないような時間を作る。金曜日の音楽では、行事での発表の場を想定し、曲選び、曲の構成、衣装選び、練習などに主体的に取り組めるようになる。自分の役割を果たし、メンバーである自覚を持つ。感染症予防に配慮した環境を作り、その中で音楽を楽しむ。

- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 火・金曜日／13:00～14:30
- ・目的 音楽と触れることで心身に刺激を与え、心身の活性化、情緒の回復や安定、リフレッシュを図る。楽器に触れる、発声をする、ダンスをする等いろいろな表現で音楽を楽しみ、身体機能の維持・改善につなげる。合奏・合唱・ダンス等、一つの曲をみんなで一緒に行うことで一体感・達成感を共有する。
- ・内容 曲に合わせて手や体を動かしリズムを体感する。リズムに合わせて、様々な楽器を鳴らす。音楽鑑賞・カラオケ等音楽を使ったレクリエーションも行っていく。みんなに披露するステージの内容について考え、練習をする。
- ・全体の評価 感染症予防で、利用者様同士で座るときに距離をあけるようにし、必要に応じて透明のパーティションを使用してきた。火曜日の音楽は、主に音楽療法をしている。利用者様はよく曲の流れを覚えているため、混乱しないようにいつも同じ流れで活動している。利用者様の中には楽器を自ら取りにいくなどの積極的な行動が増えている。手遊びでの体の動きもよく覚えている。楽器の準備や片付けも利用者様が自らカゴに入れたり、他の利用者様の分も代わりに片付けたりと協力し合っている。「今月の歌」も利用者様と意見を出しあって参加している利用者様たちは良い表情で取り組み、体もよく動かしている。金曜日のメンバーでのステージ発表は、今年も動画を撮り、DVDを作成した。ハンドベルとダンス2曲の動画を作っている。ハンドベルは、一人1つのベルを鳴らしている動画を撮り、音をつなげて「メリクリ (BoA)」という曲を作った。さらにダンス動画「ダイナマイト (BTS)」と利用者様紹介動画「Make you Happy (NiziU)」も作っている。衣装にもこだわり、どの利用者様も楽しそうに撮影に臨んでいた。完成したDVDを行事で鑑賞し、希望する家族に配付した。全員で、1つのものを完成させることができ、達成感を得ることができ、次回への意欲も高まっている。また、職員のギター演奏に合わせて歌を歌ったり、音楽を使っのゲーム (イントロクイズなど) などのレクリエーションにも取り組んできた。楽しかったようで「またやろう！」と利用者様からリクエストされている。

#### 《リラクゼーション》

- ・今年度の目標 PTと連携を取りながら、利用者様に応じたメニューを行う。訓練を重ねることで本人が抱える身体負担の軽減を目指すと共に身体機能の維持・向上を図っていく。また、個人のペースに合わせて細かく評価をしていくことで本人の訓練に対する意欲の向上を図る。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 火・木・金曜日／10:00～11:30
- ・目的 気持ちをリラックスできる時間を提供する。障がいゆえの不自然な姿勢や過剰な動き

による筋肉の緊張を緩め、生活しやすい身体づくりをする。

- ・内 容 ストレッチ、マッサージ、足浴等、気持ちを開放できるゆったりとした時間を設ける。機能維持・筋力維持・身体的負担軽減を目的とした機能訓練を行う。筋力維持・肥満軽減を目的とした筋トレを行う。生活場面でを行う動作に必要な体の動きをその人それぞれにメニューを組み、身体を動かしていく。また、自転車やストレッチポールといった道具も使い、楽しんで体を動かせることを取り入れながら楽しんで体を動かしていく。
- ・全体の評価 本年度も、服部PTと共に利用者様それぞれの身体状況の変化などをその都度確認し、訓練の内容の見直しを重ねてきた。利用者様担当職員からの体調面の報告等も踏まえ利用者様にとって必要とされる訓練を検討してきた。また御家族からの『家で出来る様になってもらいたい動き』に対しても服部PTとの相談の基、訓練のメニューに取り入れていくようにしており、御家族が期待される運動機能の向上を目指すことが出来ている。訓練メニューも多様に設定できた。新型コロナ感染予防対策の影響を受け、昼食の準備に時間を費やすこととなり、午前の活動時間の短縮が続いている。その中で出来る限りすべての参加利用者様の訓練メニューが終えられるように効率よく訓練を組むように取り組んできた。また、新型コロナ感染予防対策として服部PTの指導をリモートで行う事も必要に応じて取り入れた。直接指導のようにスムーズな指導は得られないがPTが客観視できるという利点もあった。また、リモート期間にみゆき広場の都合（行事）により金曜日以外のリラクゼーションの指導に入ってもらえるようになった。

#### 《創作》

- ・今年度の目標 新型コロナ感染症対策の徹底を図りながらの全体作品作り、個人作品作り。新たな素材を模索して、作品作りに取り入れる。既存技法の応用、新たな技法を使った作品作り。広島市ピースアートプログラムアート・ルネッサンス 2022 への出展。ダイハツ広島販売株式会社様への絵画レンタル出展。
- ・実施場所 作業場1、作業場2、新館
- ・実施日と時間 水曜日/10:00~11:30・火・金曜日/13:00~14:30
- ・目的 作品作りを通じて、作る喜びや出来るまでの過程も楽しんでもらう。出来上がった時の達成感や充実感を感じてもらう。
- ・内 容 出展作品、応募作品、行事で使用する飾りや看板作り。見聞を広めるための美術鑑賞等。
- ・全体の評価 コロナ感染予防策として対面活動を避け、座席間の距離、パーティションの使用などの工夫をしてきた。活動内容では（火）（金）は全体作品として「題材：自然の恵み」（貼り絵作品）を制作し障害者週間で展示している。（木）は「みゆきカルタ」の作成を昨年度から引き続き行っている。又、行事で使用する飾り作りや看板作りも全体を通して取り組んできた。個人作品では個々の思いを大切にしていっている。その中でダイハツアートレンタル事業の展示を年4回行っている。（ダイハツ2店舗に年間8作品を展示している。）アートルネッサンス 2022 への応募は出来なかったが、アートルネッサンス特別展での出展の誘いを受け、3作品を展示している。日々の作品作りでは、個々の独自性を活かした作品作りに取り組み、絵画・貼り絵・立体作品の他、ネジや釘などを使った個性的な作品など、それぞれの技法を取り入れ活動に取り組んでいる。興

味を持って創る喜びや楽しみを感じ、出来上がった作品の展示で成果にも繋がってきている。今後も一人一人が楽しみながら自信が持てる活動として取り組んでいきたい。

## 《リサイクル》

- ・今年度の目標 缶の仕分け、缶つぶし、袋入れ、回収品運び等、利用者様全員が何らかの役割を持って作業に参加する様、作業内容を工夫する。回収先、納品先での挨拶等を大切にす。清掃活動を行い、地域とのつながりを大切にする。自然環境をきれいにする意識を持つ。利用者様1人1人に合わせて作業を考えて行き、楽しく作業が出来る様に支援できるよう作業ができる環境を職員が整備し支援する。
- ・実施場所 みゆき広場旧館前大屋根周辺・新館・食堂
- ・実施日と時間 月・水・金曜日／10:00～11:30
- ・目的 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。
- ・内容 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。
- ・全体の評価 新型コロナウイルスの影響で回収や納品作業が減っている。感染対策ができる利用者様と一緒に回収に行っている。回収先や納品先では挨拶を交わして作業をしている。館内では段ボール畳みとラベルはがしをしたり新聞と広告の仕分け作業やシュレッダー用の紙をシュレッダーできる大きさにはさみで切ったりハンドシュレッダー作業や雑紙や雑誌の仕分け作業をしている。また、家電など壊れた機械や網戸などを分解してリサイクル業者（かこ川商店）に納品している。牛乳パックのラベル剥がしや紙ちぎりをしたり、施設内の環境整備で掃除、草抜き、タンス整理、洗濯物を取り込んで畳む作業もしている。適材適所、全員で作業をしている。コロナウイルス感染防止対策として石鹸での手洗い、アルコール消毒、個別スペースで蜜を避け、換気を徹底してきた。  
＜御協力団体名（順不同）＞住友林業様・三上治療院様・かやのみ保育園様・日栄産資(株) 駅家工場様・株式会社純様

## 《散歩》

- ・今年度の目標 体を動かし、歩くことで身体の機能維持と、精神安定につとめ健康に過ごす。外部の人と、挨拶などを交わすこと等により社会性を身につける。山の景色等から季節を感じ、リフレッシュを図る。歩くことで運動不足を解消する。自然の中で遊び、心身のリフレッシュを図る。山登りでは坂道のあるウォーキングコースを歩き、景色を楽しみながら歩く。勾配のある道を歩くことで歩行の練習をすると共に肥満軽減をはかる。さまざまな景色・物に触れるなどして気持ちの開放をはかる。ドライブのみでなく、歩くことの楽しみを感じてもらいたい。
- ・実施場所 みゆき広場近辺道路・みゆき広場屋内
- ・実施日と時間 火・木曜日／10:00～11:30 月・水・金曜日／13:00～14:30
- ・目的 歩行機能と体力の維持、増進、肥満軽減等をはかる。心身のリフレッシュと気分転換を図る。楽しみつつも、体力増進、機能維持、肥満軽減などを促す。山登りでは坂道を歩



くことにより、脚の筋肉をつけるなど歩行の練習をする。散歩を通して生活習慣病を予防し、強い身体をつくり、病気に対する抵抗力をつけ、健康に過ごす。

- ・内 容 新型コロナ感染症拡大防止の観点から、活動内容変更し行った。事業所外の人や物との接触を避けること、また移動車内での密を避けること等から、他者との接触が想定される公園等の利用や、密閉・密集・密接になり易い車での移動は極力避け、屋内でできる運動や、事業所近辺でのウォーキング等を行う。
- ・全体の評価 新型コロナ感染症拡大防止の観点から、ウォーキングで利用する公園での事業所外の人や物との接触を避けること、また、公園への移動車内での密を避ける等から、他者との接触が想定される公園等の利用や、密閉・密集・密接になり易い車での移動は極力避け、屋内で出来る運動や、事業所近辺でのウォーキング等に活動内容を変更して行った。みゆき広場周辺の道路や、車の往来の少ない農道等を利用者様の状況に配慮しながらウォーキングを行い、周辺を散歩する事で、周辺の地域住民と挨拶を交わす等の交流も見られている。また、車が接近してきた場合等、道の端に寄る、道幅の広い所で止まって待つ、交差点では右左を見る等の交通ルール・マナーを学ぶ機会となった。雨天時や、暑さ寒さの厳しい気候時には、屋内で、サイクリングマシンやジョーバ等のマシントレーニングや、腹筋やスクワット・踏み台昇降等の筋トレを行い、ウォーキングだけでない運動を取り入れたり、レクリエーション等で楽しんで体を動かす機会を設けた。昨年度から活動内容を変更して行っているが、利用者様も慣れてきたようで、どう動くのか、どのくらい動くのかが分かってきて、自発的に動かれる利用者様も出てきた。

#### 《ガーデニング》

- ・今年度の目標 各利用者様がそれぞれになんらかの役割を持ち作業に関わっていく事により、自然と親しむ経験を増やしていく。そして、水やりや草取りが必要な時期は、ジョロ等を使用する水やりや道具を使用する草取りなど個々人が役割をはたしていく。四季に応じた野菜や人気のある野菜の栽培への工賃アップにつなげていく。栽培した物を使用しての加工品の作成に挑戦していく。外部から野菜栽培の専門家を招くことで、勉強する機会を作り知識を得ていく。また、収穫した野菜の調理方法や使い方の幅をひろげていく。その他、季節を感じられる場所（農園、公園）などには、新型コロナ感染症対策を十分講じたうえで出かけていくなどし、気分転換をはかっていく。外出時はマスク着用、車内では密を防いでの乗車の工夫、窓を開けての換気、アルコール消毒液の持参、人込みがあるところには行かないなど徹底を図る。
- ・実施場所 敷地内の畑
- ・実施日と時間 木曜日/10:00~11:30 月・水曜日/13:00~14:30
- ・目的 土に触る事によって、楽しみを増やし気持ちを穏やかにしていく。また、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・内 容 自分たちで栽培している野菜が成長していくのを観察し学ぶ機会を設けていき、時期を考えながら収穫し必要に応じて草取りなども行っていく。また、季節の美しい花、香りのよい草花を育てることで精神の安定をはかる。自らの手で直接土に触る。（落葉拾いをし、栄養のある土作りを行う） 道具（一輪車、耕運機、スコップ、ジョロ）など

を用いて作業をすることで自然と親しむ。新しい野菜の栽培を行っていく。また、収穫した野菜で、漬物を作ったり、調理をする事で、食の大切さと喜びを経験する。また、造った物を販売する事で、収入の向上にもつなげていく。生育不良になった野菜の原因等を考えながら次の栽培につなげていく。

- ・全体の評価 コロナ感染症拡大のため、外部からの野菜の専門家を招く事は難しかった。みゆき広場で栽培を行った大根で切り干し大根や、白菜やダイコンの漬物などの加工品も清潔保持に徹底して挑戦した。野菜の栽培については、1年の計画を立てることで畑をフル活用してほとんどの野菜は大豊作であった。土曜朝市も2回のみで開催となってしまったものの(コロナ感染症拡大のため)みゆき広場を知ってもらうよい機会となった。ガーデニングメンバーも第1回目は数名売り子として販売現場に携わり感染対策を行った上で、お客さんとふれあうことができよい経験になった。その他、コロナ感染症拡大の影響で季節を感じられる場所への外出時は車への乗車人数を少なくし、消毒薬の持参とマスク着用、換気などを徹底し人の多いところはさけて何回か外出を行った。外出回数が減った分、ガーデニング本来の畑の草取り、水やり、収穫、種植えなど利用者様がなんらかの作業に積極的にとりくめることができしており、利用者様から『今日は、何をするの?』などとガーデニングカリキュラムで行う作業内容を楽しみにしている様子もみられている。畑で土と触れ合う利用者様の表情はとてもかがやいている。

#### 《箱庭》

- ・今年度の目標 やりたいことを実行する。好きなものに触れ、リラックスする。穏やかな時間を過ごして、リフレッシュにつなげる。利用者様がもつ表現力を引き出す。
- ・実施場所 相談室
- ・実施日と時間 月・水曜日/10:00~11:30
- ・目的 箱庭を楽しむ。箱庭療法を通じ、利用者様の気持ちの安定を図る。感覚を刺激する。
- ・内容 みゆき広場の医務室を使用し、箱庭療法を行う。
- ・全体の評価 個室で、職員と利用者様の1対1で対面することもあるため、新型コロナウイルス感染予防をしながら箱庭に取り組んできた。ほとんどの利用者様が楽しみな時間にくれている様子。声をかけに行くとスムーズに移動して部屋に入っている。おもちゃを並べたり、音の出るおもちゃで遊んだり、絵本や雑誌を読んだり、職員とおしゃべりしたりと過ごし方は人それぞれにある。砂を触って感触を楽しむ利用者様もいる。何をすればいいかわからない場合はストレスにもなるので、様子を見ながら職員が何かを提案しながら一緒に取り組んできた。

#### 《生活》

- ・今年度の目標 意欲的に活動に取り組み、新しい技術の習得を目指し、協力して仕事を成し遂げる経験を積む。新型コロナウイルス感染症対策としてマスク、手袋、手洗い、アルコール消毒の徹底、外出時の車内の蜜、人込みの多い場所への立ち入りに十分注意しながら取り組んで行く。
- ・実施場所 みゆき広場館内、敷地内、職員駐車場
- ・実施日と時間 水曜日/10:00~11:30

- ・ 目的 生活全般に関する活動を行い生活技術の習得を目指す。施設敷地内外で行える活動を通して、仕事に対する喜びを感じ、地域に関わるような活動を目指す。
- ・ 内容 洗車（施設車両）・草抜き（施設敷地内・職員駐車場）・洗濯・エアコンフィルター掃除・加湿空気清浄機フィルター掃除・陶芸・衣替え・施設周辺のゴミ拾い・その他必要に応じて活動を行う（行事準備の手伝い、地域の方の家にチラシ配り）
- ・ 全体の評価 今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から外出しての買い物はせず、主に施設内や周辺での清掃活動を行ってきた。館内掃除ではエアコンのフィルター掃除、窓拭き、下駄箱掃除、床掃除を行い、季節の変わり目では衣替え、前日の洗濯物のたたみを行い、施設周辺では草取りを行っている。草取りは当日の天候や気温に注意しながら利用者様の体力を考慮しながら個々に応じた時間を設定して無理しない様に取り組んでもらった。送迎車の室内清掃、他のカリキュラムからの依頼で行事の準備の手伝い、合同作業など状況によって対応して来た。活動後も新型コロナウイルス感染症対策として手洗い、アルコール消毒を徹底して行っている。職員の協力により少しずつだが利用者様の出来る事が増えて来ている様に思われる。

#### 《ドライブクラブ》

- ・ 今年度の目標 車中では外の景色を楽しみながら落ち着いた雰囲気的空間作りをする。到着地でも楽しめるような場所設定をする。トイレや水分補給がスムーズに行えるように道順や到着地を計画する。安全運転に徹し、現地で降車した際でも十分な安全配慮をする。新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用と出先（トイレ）等で車外に出た際、乗車時にアルコール消毒を徹底する。車内の蜜を避ける為、座席スペースを配慮し1台の乗車人数を減らし、車の台数を増やす。感染状況に応じて外出時間の短縮や中止など活動内容を変更する事がある。
- ・ 実施場所 片道40分程度の公園・行楽地など
- ・ 実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・ 目的 外気浴を楽しむ。車窓からその季節それぞれの景色や風を感じ気持ちのリフレッシュを図る。
- ・ 内容 車で近隣地域をドライブし、行った先で散策する。
- ・ 全体の評価 2021年度のドライブクラブはコロナ渦の中、感染予防を一番に配慮し活動を行った。トイレ以外には降車しない事を念頭に置き、トイレ使用に於いても人との接触を避け対応してきた。トイレを済ませた乗車時はアルコール消毒を行ったうえでの乗車に徹底してきた。車内での蜜を避ける為、乗車人数を減らし、車の台数を増やしてきた。（10人乗りの場合、6人までの制限をしてきた。）車内の換気、マスクの着用、現地到着時の水分補給は車内で行ってきた。このような徹底した感染防止策に努めながらもドライブを楽しんでもらっている。季節それぞれの景色を楽しみ、車中では穏やかな空間で過ごされている。今後も感染予防に努め、状況に応じて活動内容を考えていく。

#### 《お料理クラブ》

- ・ 今年度の目標 興味を持って、楽しく活動に取り組む。レシピや写真などで作業工程を確認し、作業に取り組む。みんなで作業を分担し、協力して1つの料理を完成させる。器具や火の取り

扱いに注意が払えるようになり、料理のスキルを向上させる。新型コロナ感染症対策で、マスクやフェイスガードを活用し、爪や手洗いなどを徹底する事で、衛生面への意識を持つ。

- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 土曜日／10：00～11：30
- ・目的 料理の楽しさを知る。調理し出来上がった時の達成感、満足感を得る。感覚を刺激する。形の変化を味わう。旬の食材を使用し季節を感じる。
- ・内容 土曜日の昼食の小鉢一品やデザート作りをする。次回作る料理を考える。みゆき広場のガーデニングで収穫した野菜や果物を出来るだけ取り入れ、季節を感じられるメニューを作る。
- ・全体の評価 今年も新型コロナ感染拡大防止の徹底を図り、生モノを扱う調理工程を一切省き、調理工程が少なく、しっかり火が通せる料理を選択し、個々の能力にあった、調理で参加できるよう工夫をし、活動を行ってきた。さらに調理前には机の除菌作業、ハンドソープでの手洗い、アルコール消毒や、エプロン、三角頭巾、ナイロン手袋をして手袋の上から再度アルコールを噴霧し、徹底を行っている。職員の協力により、レポートリーのアイデアも増え、利用者様のできる事やる事の幅が増えてきているように思われる。

#### 《スポーツクラブ》

- ・今年度の目標 新型コロナ感染症対策の徹底。運動、スポーツ、ゲームの楽しさを味わう。スポーツ大会、球技大会の出場者は、楽しんで参加する中で、ルールを理解を深め、入賞を目標に取り組む。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 土曜日／10：00～11：30
- ・目的 健康維持増進とルールの理解を目的に、スポーツやゲームを通して楽しみながら無理なく体を動かす。
- ・内容 年齢の幅や利用者様それぞれの運動能力の違いを考慮し、運動の内容を考えていく。また、ゲーム等のルールをできるだけ簡単に、わかりやすく工夫していく。活動の見通しがつきやすいように、同じ運動やゲーム、練習などを繰り返し行っていく。
- ・全体の評価 各々の運動能力の違いを考慮して、無理なく体を動かし、楽しくゲームを行う事を取り組んできた。ゲームでは、今まで行ってきたフライングディスクや卓球、ボーリング等以外にも、利用者様からリクエストがあった紙相撲や椅子取りゲームなど今までしたことが無かったゲームもルールを分かりやすくことで取り組みやすい環境を作っていた。また、利用者様の体力にも考慮してリラクゼーションを行い、心身ともにリラックス出来るよう取り組んだ。今年度はオリンピックやパラリンピックがあった為、実際に体を動かすだけでなく、動画を観戦する中で、見聞を広げる事も行った。

#### 【年間企画、参加行事】

- 2021.4.9 お花見（みゆき広場）
- 4.23 春のお楽しみ会（みゆき広場）
- 東部地区親善球技大会 中止

### 7.9 デイキャンプ（みゆき広場）

東部地区親善スポーツ大会 **中止**

### 10.29 秋のお楽しみ会（みゆき広場）

みゆきフェスタ **中止**

### 12.24 年末感謝祭（みゆき広場）

### 2022.1.7 新年会（みゆき広場）

### 2.3 節分（みゆき広場）

#### 【健康管理】

日常生活に必要なバイタルチェック（体温・血圧・脈拍数）を毎日行っている。看護師は水曜と土曜以外の平日 AM9:00～PM12:00 に勤務しており、利用者様や職員のバイタルチェックについて必要と思われる適切な措置を講じている。また、協力医療機関の連絡調整や、健康保持のために必要な支援を行っている。

#### ○2021 年度健康診断

- ・日 時： 2021 年 11 月 22 日（月） 13:00 から
- ・場 所：みゆき場 本館 作業場 1
- ・実施人数：利用者様 男性：21 名 女性：9 名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査）・視力・聴力・胸部・X 線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査  
※風しん抗体検査 2 名（福山市保健予防課クーポン券により）  
※肝炎ウイルス検査 1 名（未実施利用者）

#### ○2021 年度職員健康診断

- ・日 時： 2021 年 11 月 6 日（土） から 11 月 27 日（土）
- ・場 所：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・実施人数：職員 男性：11 名 女性：12 名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査）・視力・聴力・胸部 X 線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査  
※風しん抗体検査 1 名（\*福山市保健予防課クーポン券により）

○2021 年インフルエンザ予防接種は、コロナ禍の影響とインフルエンザワクチン確保が困難な事から施設での実施は出来なかった。希望職員は各自かかりつけ医で、利用者様はご家族の方で予防接種をお願いした。

#### 【お口の健康相談】

- ・実施機関 医療法人社団 義恵会 土屋歯科医院
- ・実施期間 2022 年 3 月 3 日（木） / 3 月 7 日（月）

- ・実施人数 9名 / 8名

昨年度に続きお口の健康相談を行っていただいている。新型コロナウイルス感染症の影響があり、今年度は当初の予定から1度延期となり実施された。実施人数は少なかったが感染防止措置を行いながら行うことができた。健康相談自体は、利用者様も回数を重ねていることで不安なく参加することができている。

## 【各種会議の状況】

### 1) 職員会議

職員会議は原則第1土曜日の15:20~17:20の2時間で行っている。毎月の協議及び、周知すべきことを、職員会議において決めている。また、施設内研修もこの時間でおこなっている。ケア会議については、新型コロナウイルス感染症対策として職員会議内で行っていたが、データ化した資料の事前確認により会議時間が大幅に短縮されたが、職員会議の内容によっては、勤務時間内におえることができないこともあり、通常通り行うこととした。

### 2) ケア会議

毎日の連絡会議終了後、月に2回木曜日にケア会議を行っている。会議においては、利用者様のモニタリングを行い、個別支援の見直しを行っている。会議において個別支援を変更する必要がある場合は、利用者様並びに家族の同意を書面で得た後、支援内容を変更している。支援計画の終了時には最終評価を行い、面談で再アセスメントを行い、ご本人のニーズにあった個別支援計画を作成している。新型コロナウイルス感染症対策として、事前に検討事項を職員に周知し、職員会議の際にケア会議も一緒に行うようにしていたが、資料のデータ化による事前確認と検討事項の周知により、会議時間が大幅に短縮した。

### 3) 連絡会議

毎日午後5時開催。翌日の予定などの申し送り事項を中心に周知する会議として位置づけを行っている。利用者様の状態の把握等については、検討事項のみ時間をとって話し合いを行っているが、その他の事項については、確認事項として各自確認できるよう職員グループメールにより「様子報告」として確認できる状態にしている他、Google スプレッドシートを用いて、記録時間と会議時間の短縮を図りつつ職員全員で情報共有できるようにしている。

### 4) 給食会議

基本的には業務委託業者による加工済み食材を過熱して提供している。汁、ご飯については自己調理を行っている。利用者様のリクエストを取り入れるため、毎月第3水曜日の誕生日会メニューについては調理員と支援員と誕生月の利用者様で決めており、みゆき広場で自己調理を行っている。また、毎月第1土曜日をリクエストメニューの日として位置づけ、全員で主菜等を決めている。利用者様が選びやすいように、主菜の写真を作り投票で選んでもらうなど工夫をしている。ここ数年は支援学校卒業後の利用者様が増え、ボリュームのあるおかずの要望に応える為、2019年2月よりゆめサポートバク様の宅配弁当おかずのみを取り入れた。また、リクエストメニューではない土曜日にはカレー曜日として月に1回程度カレーを食していただいている。お弁当ではカレーがないため利用者の皆様に大変喜んでいただいている。

### 5) 勉強会

毎月土曜通所日の14:00から15:00まで非常勤職員と正職員とで、支援について勉強してもらって

いる。利用者様支援内容を共有することで利用者様自身が困らないようにしている。非常勤職員からの提案も聴くことができ、職員のスキルアップや、より良い支援に繋がっている。

### 【防災訓練】

- 第1回火災避難訓練(合同訓練／みゆき広場) 令和3年10月21日(木) 10:00より開催
- 第2回火災避難訓練(避難訓練／みゆき広場) 令和4年3月24日(木) 13:45より開催  
\*火災を想定した訓練を年2回行い、防災意識を身に付ける機会を得る。
- 第1回訓練(津波避難訓練／岩成公園) 令和3年11月20日(土) 10:00より開催
- 第2回訓練(津波避難訓練／御幸小学校) 令和4年3月5日(土) 10:00より開催  
\*津波発生を想定した訓練を年2回行っている。この訓練から様々な問題点を洗い出し、実際の洪水発生時の利用者様の無事に備えるマニュアルを見直した。

### 【職員研修、出張、視察等の状況】

#### 1) 職員研修・各種大会等への参加等の状況

2021年6/2	令和3年度第1回日中活動支援部会	オンライン	
6/22	令和3年度第1回生産活動・就労支援部会施設長等web会議	オンライン	
6/30-7/1	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修2日間	オンライン	
6/30-7/1	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修2日間	オンライン	
7/5	福山市指定障がい福祉サービス事業者等集団指導研修	オンライン	
7/5	福山市指定障がい福祉サービス事業者等集団指導研修	オンライン	
7/7-8	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修1.2日	オンライン	
7/13-14	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修1.2日	オンライン	
9/8	福山市地域福祉貢献活動協議会2021年度第1回ブロック会議(北部①)	オンライン	
9/21	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修3日目	オンライン	
9/22	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修3日目	オンライン	
9/28	糖尿病患者へ栄養指導の実際～カーボカウントを含む～	オンライン	
10/19-20	令和3年度広島県サービス管理責任者及び児童発達管理責任者更新研修2日間	オンライン	
11/12	令和2年安全運転管理者等講習	広島県民文化センター	
11/17-18	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修	オンライン	
11/25-26	令和3年度広島県相談支援従事者初任者研修	オンライン	
12/6	社会福祉法人会計セミナー予算・実践編	RCC文化センター	
12/6-7	令和3年度広島県強度行動障害支援員養成研修(基礎研修) 2日間	オンライン	
12/10	令和3年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修プログラム	オンライン	

	ラム		
12/23	令和3年度第2回日中活動支援部会	オンライン	
2022年 1/14	令和3年度広島県経営協セミナー	オンライン	
1/19	広島県相談支援従事者及びサービス管理者等専門別研修	オンライン	
2/9	福山市障がい福祉サービス等事業者研修会	オンライン	
2/10	自信創出講演～女性の持つジェンダーバイアスについて考える～	オンライン	
2/15	令和3年度第2回日中活動支援部会施設長会	オンライン	
3/5	職員施設内研修～腰痛の根本解決～	オンライン	
3/8	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/8	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/9	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/9	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/10	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/11	令和3年度健康保険委員研修会	オンライン	
3/14	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/14	令和3年広島県知的障害者福祉協会第2回総会	オンライン	
3/15	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/16	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/16	令和3年度広島県社会福祉法人経営者協議会第2回総会	オンライン	
3/17	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/18	令和3年度発達障害支援者研修	オンライン	
3/22	広島県知的障害者福祉協会福山・府中圏域会議	オンライン	

### 【ボランティアの状況】

ボランティアは団体及び個人とも受け入れなし。

### 【施設実習等の状況】

#### 1) 実習生等来訪

県立福山北特別支援学校より就業体験・職場実習生1名の受け入れについて依頼があったが、コロナ禍で延期となっている。

#### 2) 旧館利用 団体 2 (14回)

#### 3) 理学療法 毎週金曜日 9:30～11:30 (43回\*リモート23回含)

理学療法士が利用者様の体の状態を確認し、機能訓練プログラムを職員と相談し決定。経過を観察しプログラムの変更等を行った。コロナ禍で新規感染者が多い時や、まん延防止等重点措置の期間中はリモートでその方に適した理学療法をモニタリングしている。

### 【家族との懇談会】

コロナ禍で懇談会は開催していない。ご家族への必要情報は文章や電話でお知らせしている。